

無料

ご自由にお持ち
帰り下さい

平和で豊かな沖縄県を目指す情報誌

沖縄協会だより

2019.12

No.14



平和の絵—「戦争と平和」

20点連作—第8作

西村計雄 作

キビの花と太陽

300号

175.9×303.8×6.5cm



〈制作意図〉 沖縄の基幹産業であるサトウキビ。台風や厳しい干ばつに耐えて、キビは実る。その熟れた尖頭にふさふさと咲き競う白い花。キラキラと輝く太陽は、自然と人びとが織りなしたこの豊穡の季節を讃美する。人びとは収穫を感謝し、平和で明るい新たな未来をめざして自然の中に躍動する。

(昭和56年6月4日寄贈)

西村計雄 (明治42年・北海道生まれ)

東京美術学校卒、藤島武二に師事。1943年文展(現・日展)特選。戦後早稲田中学校と高等学校の教師を勤め、51年に42歳で単身渡仏する。ピカソの画商カーンワイラー氏との出会いを契機に、53年よりパリを中心にヨーロッパ各地で個展を開催。その作品は、フランス国立近代美術館やパリ市美術館に買い上げとなった。フランス芸術文化勲章、共和町立西村計雄記念美術館開館。2000年12月4日没。

沖縄協会は、沖縄が本土に復帰するまでの間、各種の援護活動を行った特殊法人南方同胞援護会(昭和31年~47年5月)の後を受けて、昭和47年9月20日に設置された内閣府所管の公益法人です。新たに設立した財団法人沖縄協会は、南方同胞援護会の実績と経験を活用して、沖縄の振興施策に積極的に協力し、平和で豊かな沖縄県の建設に寄与してまいりました。平成23年(2011)4月1日、沖縄協会は内閣総理大臣より公益財団法人として認定を受けて「公益財団法人沖縄協会」として新たな一歩を踏み出しました。これからも、沖縄県の健全な発展と幸福な社会形成に役立つ事業を行いながら、沖縄平和祈念堂を管理運営することで、平和で豊かな沖縄県の建設に貢献していきます。

公益財団法人 沖縄協会

第41回

沖縄研究奨励賞

沖縄協会では、沖縄の地域振興・学術振興に貢献する人材を発掘し、育成するため、昭和54年（1979年）から沖縄研究奨励賞を設け、沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究（自然科学・人文科学・社会科学）を行っている50才以下の新進研究者又はグループに対し、その年ごとに3件以内に贈呈している。本年度で第41回を重ね、全国9都府県から16件の推薦応募が寄せられ、選考委員会（牧野浩隆委員長）において、厳正・慎重な選考を重ねた結果、受賞を3件に決定した。

自然科学部門



西辻光希 (代表)
(にしつじ・こうき)

〈年齢〉35歳
〈所属〉沖縄科学技術大学院大学
マリンゲノミクスユニット
・研究員

〈研究題目〉
沖縄県特産の海藻類ゲノム
に関する研究



有本飛鳥
(ありもと・あすか)

〈年齢〉31歳
〈所属〉広島大学大学院
統合生命科学研究科
附属臨海実験所・助教

自然科学部門



富永 篤
(とみなが・あつし)

〈年齢〉41歳
〈所属〉琉球大学教育学部・准教授
〈研究題目〉
沖縄における両生類の
系統分類および生物地
理に関する研究

社会科学部門



山本章子
(やまもと・あきこ)

〈年齢〉39歳
〈所属〉琉球大学人文社会学部
国際法政学科・講師
〈研究題目〉
日米地位協定と沖縄

※年齢は2019年7月15日応募時

沖縄における両生類の系統分類および生物地理に関する研究

富永 篤

受賞理由

琉球列島はその昔、中国大陸の一部であったとか、多くの島々が水没した時期があったとか、地質学的に様々な知見が明らかになってきたが、生物地理学的研究は、かなり残されたままである。本研究は、陸上生態系における重要な指標である両生類に着目し、この地域の固有種（ホルストガエル、ヒメアマガエル、シリケンイモリ等）のミトコンドリアDNAのチトクロムb領域の解析や分子系統学的解析を行い、従来の知見を修正し、ほぼ結論的な成果を得ていることである。

すでに明らかになように、ミトコンドリアDNAの解析手法は、絶対的な側面を有しており、その手法でもって、上記の動物における島嶼内および島嶼間での遺伝的交流と分断の歴史を明確にし、琉球列島の多様な生態系の成り立ちを理解する上での基本を構築することに成功したといえる。

すなわち、沖縄本島と渡嘉敷島のホルストガエルは、両島が孤立し、再度陸続きになった時

も遺伝子流動が起らなかったことや、琉球列島の奄美諸島においては独自の遺伝的分化を遂げたこと、ヒメアマガエルは各地域で大きな分化を遂げており、別種に相当する4群に分かれることを明らかにしたことである。

富永氏の研究は、琉球列島のみならず、日本列島から東アジア域の他の種々の両生類へと広がっており、その延長線上には両生類を介した世界の種の多様性の研究や新たな系統地理学の未来像をリードするものがあり、今後の活躍を期待したい。

【比嘉 照夫 選考委員】

沖縄県特産の海藻類ゲノムに関する研究

西辻光希(代表)
有本飛鳥

受賞理由

ゲノムの解析は遺伝子情報の応用に必要不可欠なものである。研究の進展とともに、遺伝子の融合による新しい遺伝子機能の存在が明らかになり、生命現象の奥の深さを示唆するものであるが、このレベルの研究は極めて難易度が高く、DNA生物学の究極に迫るものである。

先ず本研究では、オキナワモ

ズクゲノム内のフコイダン合成遺伝子は、シオミドロなどでは二つの遺伝子・酵素によってなされる過程と異なっている点を明らかにしたことである。すなわち、オキナワモズクでは合成過程に関わる二つの遺伝子が融合して一つの遺伝子となり、フコイダンをより効率よく作り出すという新たな知見である。同時に、イトモズクでも、もう一組の融合遺伝子の確認を行っている。それらの研究は、モズクの機能性成分であるフコイダンのキャッチコピーともなるものである。

その次に、多核単細胞性的大型緑藻の海ブドウ(フビレスク)の多様な形態形成に複雑な遺伝子mRNAによるタンパク質の合成輸送機構が関与していることを明らかにしたことである。その機能性は、緑藻類や陸上植物に共通した遺伝子の重複によるものであり、陸上植物への進化のプロセスに関わる扉を拓き始めている。

オキナワモズクや海ブドウは、沖縄水産業の大きな柱である。本研究によって養殖地域の特異性も明らかになっており、各々の地域に合致した品種特性や品種改良等々の期待すべき実用的側面も有している。今後の幅広い応用を期待したい。

【比嘉照夫 選考委員】

日米地位協定と沖縄

山本章子

受賞理由

「在日米軍」の事件・事故の多くは「国内法」が適用されないため、適切な事後処理や未然防止の障害となり、日本は「治外法権」下にあるかの様相を呈している。

本書は、主権国家で何故こうした事態が繰り返されるのか、その打開策を求めて取り組んだもので、「日本全体が問うべき問題」だと喚起した好著であると高く評価された。

「在日米軍」の行動や権利を規定しているのは「日米地位協定」であり、1960年の安保改定時に従前の「日米行政協定」を改定して継承された。しかし、米軍の既得権益である「基地の管理権」や「裁判管轄権・捜査権」等は変更されず、在日米軍に幅広い行動の自由が与えられた。

著者は、同協定の歴史的経緯や特質、運用の実態、海外の事例など、新たに得た資料を入念に分析し、「日米地位協定」の限界と矛盾点を摘出した。とりわけ重要な成果は、安保改定に際して別途に「日米地位協定合意議事録」が作成され、以後40年余も「非公開」「密約」とさ

れてきた真の意義に不合理性を明らかにしたことである。

同協定の「運用」は条文を遵守せず、「合意議事録」に基づき米軍に有利に解釈されるため、米軍は独自の判断で自由に行動できるようにした。また、事件・事故の度に同協定の改定が強く要請されているが頑なに拒否され、「運用の改善」にとどまっている事態を浮き彫りにしている。

こうして本書は、異常な運用の根幹である「日米地位協定合意議事録」の「撤廃」を提唱し、「日本社会が認識を共有して議論を深めること」を願っているという問題意識が評価された。

なお選考に当っては、合意議事録等は日米安保の実効性を保証する「手段」に過ぎないが、寛大な講和や極東条項を含めた日米安保の「本質」への言及を欠いているため、「撤廃論」だけでは限界があると指摘された。

昨今、内外の安全保障環境は激変しつつある。著者にはこうした動向を見極め、当初の問題意識を完遂すべく、日米安保を相対化する新たな安全保障論への挑戦を期待したい。

【牧野浩隆 選考委員長】



沖縄出身画家紹介③

安谷屋正義作 海 M50

沖縄平和祈念堂美術館

安谷屋正義(大正10年生・沖縄県)

東京美術学校(現東京芸術大学)図案科を戦時特例法により繰上卒。昭和23年那覇市首里儀保町の通称ニシムイ美術村に住宅兼アトリエを建設。25年玉那覇正吉・安次嶺金正・金城安太郎・具志堅以徳と「五人展」を結成し、第1回五人展(壺屋小学校)を開催。29年沖縄タイムス社のマークをデザイン。32年第34回春陽展(東京都美術館)・春陽会賞受賞(この時から画風は白を基調とした空間と線の構成へと転換する)。33年「創斗会」を結成、第1回創斗展(沖縄タイムスホール)出品。33年春陽会準会員に推挙。33年安井賞候補新人展(国立近代美術館)出品。36年琉球大学文学部美術工芸科教授。38年第1回沖縄個展(沖縄タイムスホール)・第1回東京個展(銀座フォルム画廊)を開催。42年第1回沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。44年安谷屋正義遺作展(琉球政府立博物館)。56年沖縄作家五人遺作展(沖縄平和祈念堂美術館)『塔』『滑走路』展示。42年没。



トピックス

★鎮魂の祈り・

チャリティーコンサート

沖繩平和祈念堂

9月14日、和みの会(金城弘子会長)主催による「鎮魂の祈り・チャリティーコンサート」沖繩平和祈念堂が当平和祈念堂で開催された。この催しは、糸満市で活動するボランティア団体・和みの会が国内外で精力的に活躍するヴァイオリニストの竜馬氏と出会い、同会から平和祈念堂で鎮魂の海の演奏を依頼し、竜馬氏から快諾を得たことから実現した。開催にあたり、平和祈念堂の場所から鎮魂の思いを御霊に捧げ、沖繩から平和を誓い、世界の幸せを願う思いがこめられた。演奏は竜馬氏とピアノリストの真島聡史氏の二人で繰り広げられ、来場した100人余の聴衆は堂内に響く美しい音色の楽曲に深く感動を覚え、熱心に耳を傾けた。また、本コンサート



のチャリティー益を、当平和祈念堂の貴重な浄財として頂いた。

★第3回青年の船

50周年記念沖繩大会

10月22日、第3回青年の船50周年記念沖繩大会が当平和祈念堂で開催された。当協会会長時代に多大なる功績を残した小玉正任氏を偲び平和祈念堂に会した約80名の参加者は、初めに、平和と先の災害被災者への祈りをこめて黙とうを捧げた。その後、当協会・新垣昌頼専務理事から、平和発信への思いと平和祈念像についてのお話があった。小玉氏と親交の深かった参加者からは、小玉氏のエピソードや人となりのお話があり、参加者は興味深く耳を傾けていた。



★沖繩芸能協会研修ツアー

11月10日、沖繩芸能協会(勝連繁雄会長)の2019年度研修ツアー(会員約50名)が当平和祈念堂で開催され、組踊「執心鐘入」を上演

奉納した。平和祈念堂での組踊は、これまでに抜粋での上演はあるが、全編通しては初めて。勝連会長による研修主旨を紹介する。

* * *

【テーマ】

平和祈念堂

沖繩のシンボルを求めて、沖繩芸能協会の研修ツアー、去年は摩文仁の沖繩平和祈念堂で奉納演奏・舞踊を行い、八重瀬町志多伯の民俗芸能を鑑賞した。今年は何と話し合っている時、平和祈念堂はよかったね、との声があり、平和祈念堂をもっと活用してもいいのではないかとの声もあった。平和祈念堂を沖繩の心のシンボルにしようという想いが起こった。

前回、一つの琉歌を紹介した。

天地澄みちりて 海山の美らや 島々の燈り 摩文仁照らち

平良長輝

摩文仁は沖繩戦の地獄の象徴です。「島々の燈り」は沖繩の今の夜景でしょう。うっかりすると沖繩の繁栄、平和の燈りに見える。だが、その燈りが摩文仁を照らしているという。礎、戦没者慰霊碑、平和祈念堂を照らしているイメージです。風土の美しさを讃える心もあるが、美しさに惑わされて過去の真実を忘れてはならないという警告の心でもあるように思えます。と解した。

平和祈念堂は、美しいけれど悲しい。悲しいけれど美しい。天空に向かって立つ白いフォルムは思わず残酷な過去を忘れさせてしまうほど美しい。だが、ひとたび祈念堂の中に入ると、そこは魂でしか対話が成り立

たない霊域だ。祈念像は絶対的静謐さのままである。そういう他にない存在なのである。永遠に。それゆえそんな祈念像を前にしては、誰もが自らの「魂」の深い沈黙に落ちる。

平和祈念堂を、沖繩人の魂の象徴にしてもいい。特定の宗教の聖地にするのではない。ここには魂の痛みを知っている人が集まれば、不幸の根源、要因について考える人がやってくる。ここにやってくる。来て黙想するだけではない。

沖繩芸能協会が率先して平和祈念堂を活用しよう。芸能協会は芸能団体である。ならば芸能を奉納しながら「平和祈念堂」の存在意義について語り合うのもいいだろう。

今回の研修ツアーでは、平和祈念堂で組踊をやったらどうだろうかの発言。他にすぐに思いつくのが出ないので、そうしよう、となる。何をやるか。公演時間を考え、ついでに組踊上演三百年なども頭に浮かべ、玉城朝薫の五番から「執心鐘入」が適当となった。



協会関係事業他

募集案内

★第28回金城芳子基金

募集案内

『金城芳子基金』は、沖繩女性の地位向上のために献身された金城芳子さん(1902-1991)の強い意志により、そのご遺族によって1992年に当協会に設置され、沖繩女性のため、社会的に意義のある活動や調査研究を行う個人及び団体・グループに助成している。

第27回までに27の個人・団体に助成を実施した。第28回の応募締切は2020年3月31日。当日消印有効。

※詳細は「公益財団法人沖繩協会のホームページより

★沖繩平和祈念堂

改修工事に伴う

ご寄付のお願い

開堂から41年を迎える沖繩平和祈念堂では、現在、経年劣化による改修工事を頻繁に実施しております。今後、さらに工事の必要が考えられますので、多くの皆様に諸経費に対するご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

※詳細は「公益財団法人沖繩協会のホームページより

